

私の交通規則への認識の甘さ

U・Y 飲食店員 (20代)

私の犯した罪は過失運転致死、道路交通法違反(ひき逃げ)です。

その日は職場の後輩を家まで送った後、ついでに友人と遊ぼうと思い、「仕事が終わったよ。」と友人にメールを送った後、友人の家に向かって車を運転しました。

しかし、友人の返信が気になり、運転への注意が散漫になっていました。そんな中、友人からメールの返信がありました。私はスマートフォンに表示された返信を見終わり、前を向いた瞬間、ドンという鈍い音がしました。

その時、私には何が起きたのか分かりませんでした。しかし、何かにつかってしまったのではないかと思うと、とても恐ろしい気持ちになり、そのまま立ち去りました。そして、近くのスーパーに車を止め、車の状況を確認しました。すると、フロントガラスはひび割れており、ボンネットもへこんでいました。

私は、ぶつかったのが人ならば大変なことになるかもしれないと思い、すぐに事件現場へと戻りました。すると、やはり人が倒れており、すぐに私は車から降り、声を掛けました。

しかし、声を掛けても反応がありません。そこで、私は救急車を呼びました。そのとき、「人が倒れています。」とだけ通報し、自分がしたことではないような発言をしてしまいました。また、たまたまそこを通りがかった車の方が警察を呼びました。

私は警察の方にも事情を聞かれ、再びうそをつきましたが、警察の方に私の車が壊れていることを指摘されました。

そこで私は初めて「自分がひきました。」と言いました。その後、警察の方に色々と話を聞かれ、その日はそのまま帰宅しました。帰宅後、親に

事情を話し、すぐに被害者の方が運ばれた病院に行きました。

病院には被害者のお母さんとお兄さんがいました。そして、被害者のお母さんには「救急車を呼んでくれてありがとう。」と言われました。しかし、私は事件現場から一度逃げたことを伝えることができず、その日はそのまま帰宅してしまいました。

その後、被害者の方が亡くなられたことを警察の方から聞き、ご遺族の方にも連絡をしました。ご遺族の方から「落ち着くまで待ってほしい。こちらからまた連絡するので、それまで何もしないでください。」と言われました。

その後、何もないうまま刑事裁判となり、求刑3年6月、実刑2年10月となり、刑務所に服役しています。この事件により、私の家族もとても苦しく大変な思いをしながら生活しているはずです。

私が犯した罪の重さをより深く理解し、家族に対しても被害者御遺族の方々にもどれだけ迷惑を掛けているか考え、人として生まれ変わるような努力をしようと日々過ごしています。